

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）旭川林業土木協会

活動内容	「外国樹種見本林」の環境整備を実施
1 実施年月日	： 平成28年6月6日
2 実施場所	： 北海道旭川市神楽 上川中部森林管理署管内 外国樹種見本林
3 参加会員数	： 21企業及び事務局 128人
4 活動内容：	<p>上川中部森林管理署は、道央の旭川市周辺の約16万haの国有林を管轄していますが、旭川市内の国有林には、道内では最も古い約15haの「外国樹種見本林」が設定されています。この見本林は、外国樹種が北海道で育つかどうかを確認するために明治31年から整備されたもので、ストロブマツ、ヨーロッパトウヒなどの外国樹種が植栽されています。この見本林は、旭川市中心部に近く美瑛川沿いにあり、旭川出身の作家、三浦綾子のベストセラー小説「氷点」の舞台ともなっており、森林環境教育や市民の散策などにも活用されていることから、レクリエーションの森（自然休養林）に指定されています。</p> <p>当協会は、平成26年4月に上川中部森林管理署と「社会貢献の森における森林整備活動協定」を締結し、以来毎年この見本林の整備活動を実施しています。</p> <p>今回も、会員企業などから128名が参加し、新谷会長が挨拶を述べた後、手分けして、歩道沿いの雑草木の刈り払い、投棄されたゴミの収集、歩道への木材チップ20トンの敷均しなどの作業に汗を流しました。また、訪れる人を楽しんでもらうために、今回もサクラの苗木を植栽しました。</p> <p>当協会は、旭川市のシンボルともなっているこの見本林の環境整備に、協定に基づいて今後とも協力していく考えです。</p> <p>なお、この活動の様子は、北海道建設新聞に掲載されました。</p>

活動写真	歴史ある外国樹種見本林
	
	
作業に参加した会員企業の皆さん	雑草木の刈り払い作業



雑草木の刈り払い、ゴミの収集作業



木材チップの敷均し作業